

2016/9/23 20:15 神戸新聞NEXT

心揺さぶる演舞を 北須磨高生が世界武術大会へ



世界大会に出場する貴田菜ノ花さん＝神戸市中央区中山手通2



第6回世界ジュニア武術選手権大会（28日～、ブルガリア）に、NPO法人「神戸太極拳協会」（神戸市中央区）所属で北須磨高校2年の貴田菜ノ花（きだなのは）さん（16）＝垂水区＝が出場する。これまで国内外で好成績を収めてきた貴田さんだが、16～18歳女子では初挑戦。「自分が一番上手だという気持ちで挑みたい」と力を込める。（石川 翠）

貴田さんはカンフー映画が好きな両親の影響を受けて小学2年から武術太極拳を始め、6年でアジア大会に初出場した。23国・地域から280人が出場した昨年のアジア大会では、素早いけりや跳躍などを繰り出す「長拳（ちょうけん）」と、槍（やり）を用いた「槍術（そうじゅつ）」で金賞、「剣術」で銀賞を獲得した。

コーチの竹中保仁さん（48）は「流れの中で一つ一つの動作がしっかりとできている。ぶれが少ないため失敗も少ない」と評する。

世界大会とアジア大会は交互に開催され、世界大会出場は中学1年以来2度目。今回は約900人が出場予定で、年齢で3組に分けられ、貴田さんは16～18歳の組で、前回よりも型の難易度が上がる。

会場によって敷物の厚さが異なることから、片足で立つ際にバランスを崩さないよう、同じ動きを何度も繰り返すなど、練習を積み重ねる。

競技に入ると、穏やかな表情は一変、素早く力強い動きと表情が風格を漂わす貴田さん。勝つことを目標にする一方、武術太極拳の魅力を広めたいという気持ちも強く、「見る人の心を揺さぶるような演武をしたい」と話した。